

社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部
平成 29 年度 社会貢献活動

報告書

活動テーマ

公共空間・公共施設の利活用



平成 30 年 3 月

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
中国支部 技術部会 地域計画委員会

*** 目 次 ***

| | (頁) |
|---|-------|
| 第1章 活動概要 | 1 |
| 1.1 目的 | 1 |
| 1.2 活動内容 | 2 |
| 1.2.1 活動の流れ | 2 |
| 1.2.2 活動の対象範囲 | 2 |
| 1.2.3 活動の内容 | 2 |
| 1.3 活動工程 | 3 |
| 第2章 活動結果 | 4 |
| 2.1 公共空間の活用に関する各種事例調査及び視察 | 4 |
| 2.1.1 活動概要 | 4 |
| 2.1.2 事例調査 | 8 |
| 2.1.3 現地視察 | 55 |
| 2.2 都市・地域デザインカンファレンス中国 2017 エリアマネジメント× 官民連携のまちづくりの開催 | 70 |
| 2.2.1 開催準備 | 70 |
| 2.2.2 開催概要 | 74 |
| 2.2.3 開催結果 | 76 |
| 2.2.4 参加者へのアンケート | 126 |
| 2.2.5 参考資料 | 139 |
| 2.3 まちづくり出前授業 | 167 |
| 2.3.1 活動概要 | 167 |
| 2.4 他団体との共催による講演会の実施 | 168 |
| 参考資料 | |
| 1. 活動メンバー一覧 | 参考-1 |
| 2. 観光ガイドブック「ひろしま うまらちめぐり」更新 | 参考-2 |
| 3. 活動会議議事録 | 参考-9 |
| 4. 活動メンバー感想文 | 参考-25 |

第1章 活動概要

1.1 目的

平成18年度から7年間は「自転車とまちづくり」をテーマとして活動してきた。

平成25年度から4年間は、安心・安全、賑わい、景観、環境など、総合的なまちづくりにおける様々な課題について探ることを目的とし「やさしいまちづくり」をテーマとして活動してきた。

今年度からは、「公共空間・公共施設の利活用」をテーマに掲げ、公共空間や土地活用のあり方など、中国地方における地域活性化や柔軟に対応できるまちづくりのあり方を探り、建設コンサルタント業の認知度・高感度の向上に寄与すべく活動を行うこととした。

道路へのオープンカフェの設置、河川敷へのテラスの整備など、公共空間・公共施設を活用した賑わいづくりはすでに様々な地域で実施されており、広島市においても京橋川沿いのカフェなどが有名である。一方で、活動毎にスキームは異なり、財源・人員の確保や法規制、活動の継続等、クリアすべき様々な課題を抱えている現状がある。それら課題を明確にし、一つずつ解決していくことで、更なる公共空間・公共施設の利活用が活発化することを期待し、今年度の活動がスタートした次第である。

今年度は、まずは各種団体の様々な活動を知ることから始めた。主な実施内容は以下のとおりである。

- ①「市民参加のまちづくり」や「協働のまちづくり」を基本テーマに、公共空間や土地活用のあり方など、中国地方における取組や全国各地における好事例の事例集を公共空間別に作成した。
- ②机上では把握しきれない公共空間の活用上の課題や成功のポイント等について視察を実施した。
- ③フォーラム「エリアマネジメント×官民連携のまちづくり」を開催し、広島を中心とした中国地方におけるエリアマネジメントや官民連携によるまちづくりについて、国内外の先進地域での最新の動向や課題を共有した。

まずは実態調査をすることで、今後の方向性を探ると同時にまちづくりの機運と高めることを期待した。なお、本活動は、公共空間・公共施設を活用したまちづくりのきっかけとなるために、継続的な取り組みの展開を図るものとしている。

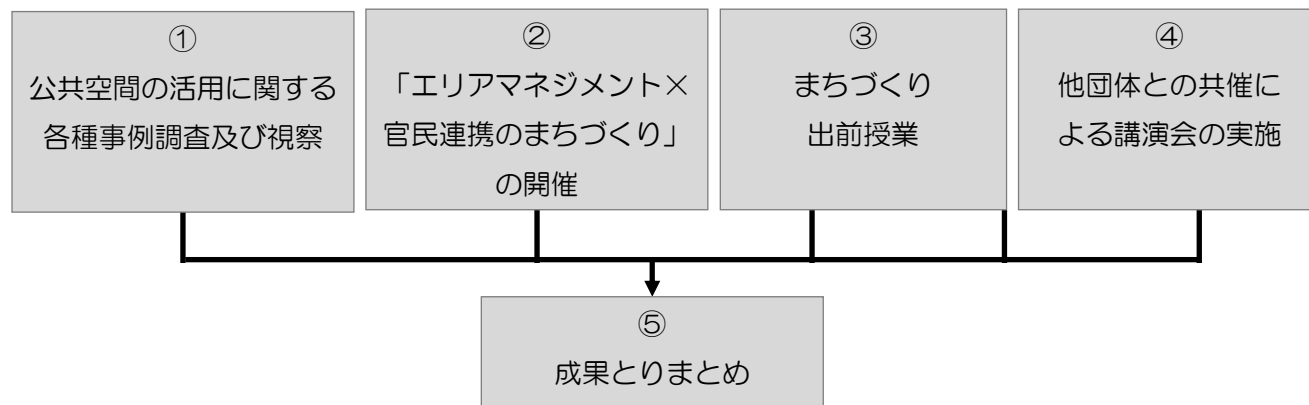
本活動は、(一社)建設コンサルタンツ協会の「第二次中期行動計画 H22.3」に基づく社会貢献のための行動の一環であり、社会資本整備に関わる知見と知識を提供できる専門家集団として、ボランティア活動、各種フォーラム、著作物などを通じて、協会及び建設コンサルタントの情報発信と社会的認知度を高めることをねらいとしている。

(一社)建設コンサルタンツ協会・中期行動計画 <http://www.jcca.or.jp/about/invention/plan2/index.html>

1.2 活動内容

1.2.1 活動の流れ

本活動は下図のフローに示すとおり、4つの活動を順次行い、成果としての本報告をとりまとめた。



1.2.2 活動の対象範囲

活動の対象範囲は広島県全域とし、周辺地域を含めた。

1.2.3 活動の内容

(1) 公共空間の活用に関する各種事例調査及び視察

「市民参加のまちづくり」や「共同のまちづくり」を基本テーマに、公共空間や土地活用のあり方など、中国地方における取組や全国各地における好事例の事例集を公共空間別に作成した。

また、机上では把握しきれない公共空間の活用上の課題や成功のポイント等について視察を実施した。

(2) フォーラム「エリアマネジメント×官民連携のまちづくり」の開催

広島を中心とした中国地方におけるエリアマネジメントや官民連携によるまちづくりについて、国内外の先進地域での最新の動向や課題を共有することで、今後の方向性を探ると同時にまちづくりの機運と高めることを期待し開催した。

(3) まちづくり出前授業

地元の小学校などで地域や最新技術に関わる授業を行うことで、建設コンサルタント業界の知名度・地位の向上を図れ、授業をする側も知識・経験の蓄積となった。

(4) 他団体との共催による講演会の実施

公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部との共催により、「観光とまちづくり」をテーマとした講演会を2回にわたって実施した。

(5) 成果とりまとめ

以上の活動成果は、本報告書に記すとおりとりまとめた。

1.3 活動工程

活動は以下に示す工程で実施し、会議はメンバー各社持ち回りで計9回実施した。
 なお具体的な作業については、メンバー内で作業を分担し実施した。

表 活動工程

| | H29 (2017) 年 | | | | | | | | | | H30 (2018) 年 | | |
|------------------------------|--------------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|--------------|---|--|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| (1) 公共空間の活用に関する各種事例調査及び視察 | | | | | | | | | | | | | |
| ① 事例調査 | | | ● | | | | | | | | | | |
| ② 視察 | | | | | | | | | | ● | | | |
| (2) エリアマネジメント ×官民連携のまちづくり | | | | | | | | | | | | | |
| ①準備 | | ● | | | | | | | | | | | |
| ②実施 | | | | | ● | | | | | | | | |
| (3) まちづくり出前授業 | | | ● | ● | | ● | | | | | | | |
| (4) 他団体との共催 | | | | | | | | | | ● | ● | | |
| (5) 成果とりまとめ | | | | | | | | | | | ● | | |
| 会議 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | |

第2章 活動結果

2.1 公共空間・公共施設の利活用

2.1.1 活動概要

「市民参加のまちづくり」や「協働のまちづくり」を基本テーマに、公共空間や土地利用のあり方等、中国地方における取組や全国各地における好事例の事例集を公共空間別に作成した。

事例収集および事例集の作成にあたっては、初年度という点を踏まえ以下に留意して情報収集、作成を行った。

【事例収集】

- ・ 特定地域に絞らず全国を対象に事例を収集する。
- ・ 事業継続中、終了に関わらず事例を収集する。
- ・ 社会実験等の期間限定の事例についても収集対象とする。

【事例集作成】

- ・ 共通の事例集フォーマット（後述）を作成し、収集情報を入力する。
- ・ 次年度以降の更新も考慮して、作成者およびどの時点の情報であるかを把握するため、収集時期（収集年月日）を別途明記する。

収集にあたっては、分野毎にメンバー各社の担当を決め行った。以下に各社の担当分野を示す。なお分野分類は国土交通省が実施した「都市空間における公共空間の利活用に関するアンケート」を参考にを行った。

表 担当分野

| 分野 | 主な施設 | 担当 |
|-------|------------------------------|--------------------------|
| 道路 | 車道、歩道、道路橋、歩道橋など | 福山コンサルタント 中電技術コンサルタント |
| 交通施設 | 駅舎・駅前広場、空港、バス停、 駐車場、鉄道橋など | 荒谷建設コンサルタント |
| 河川 | 河川敷、堤防など | ランドブレイン 地域未来研究所 |
| 広場・自然 | 公園、緑地など | 復建調査設計 |
| 公共施設 | 学校、図書館など | 長大 サーバイ・リサーチ・センター |
| その他 | | — |

■ 施設表

| | | 主な施設 | 備考 |
|----------------|------------------------|--------------|-----------------|
| 道路空間 | 車両空間 | 1 自専道の車道 | |
| | | 2 一般道の車道 | |
| | | 3 自転車走行空間 | 自転車レーン、自転車道など |
| | 歩車共存空間 | 4 歩車分離なしの細街路 | 住宅地内の道路など |
| | | 5 歩行者優先道路 | 商店街のアーケード通りなど |
| | 歩行空間 | 6 一般道の歩道 | |
| | | 7 歩行者専用道 | 緑道など |
| | | 8 地下道 | |
| | その他道路空間 | 9 環境施設帯 | 緑地帯、緩衝帯、滞雪帯など |
| | | 10 法面 | 盛土法面、切土法面など |
| 交通施設 | 橋梁施設 | 11 歩道橋 | ベデストリアンデッキ含む |
| | | 12 道路橋 | 高架下空間など |
| | | 13 鉄道橋 | 高架下空間など |
| | 公共交通施設 | 14 駅舎 | バス停、電停含む |
| | | 15 駅前広場 | ロータリー、バスターミナルなど |
| | | 16 軌道 | |
| | 駐車施設 | 17 駐車場 | |
| 18 駐輪場 | | | |
| 空港・港湾施設 | 19 空港・港湾 | | |
| 河川空間 | 20 水面 | 河川、湖沼 | |
| | 21 河川敷 | | |
| | 22 堤防、護岸 | | |
| | 23 治水施設 | ダム、水門、遊水地など | |
| 広場・自然空間 | 24 公園 | | |
| | 25 緑地 | | |
| | 26 ポケットパーク | | |
| | 27 墓園 | | |
| 供給・処理施設 | 28 上水道 | | |
| | 29 下水道 | | |
| | 30 ごみ焼却場 | | |
| 公共公益施設 | 31 学校・図書館、その他教育文化施設 | 主に屋外空間 | |
| | 32 病院・保育所、その他医療・社会福祉施設 | 主に屋外空間 | |
| | 33 市場 | 主に屋外空間 | |
| | 34 流通業務団地 | 主に屋外空間 | |
| | 35 公営住宅団地 | 主に屋外空間 | |
| | 36 官公庁施設 | 主に屋外空間 | |
| | 37 防災施設 | 防潮堤、津波避難ビルなど | |
| その他 公共空間・施設 | 38 その他 1() | | |
| | 39 その他 2() | | |
| | 40 その他 3() | | |
| | 41 その他 4() | | |
| | 42 その他 5() | | |

図 (参考) 都市空間における公共空間の利活用に関するアンケート - 国土交通省

出典：<https://www.mlit.go.jp/pri/shiryuu/sonota/kahen2015/pdf/result-1.pdf>

作成した共通の事例集フォーマットを以下に示す。

| | |
|---------------------------|--|
| 分野：〇〇空間（〇〇空間） | |
| ■ 概要・事業名称等（〇〇県〇〇市） | |
| 主体 | 「主催者（社）」や「協力者（社）」等が分かるものについては別途明記する。 |
| 実施期間 | |
| | 収集分野を明記する。 カテゴリ分け出来るものについては、 括弧内に明記する。 |
| 目的 概要 | 「目的・概要」のほか、「効果」や「課題」等についても 収集できた情報は明記する。 |
| 出典 | 次年度以降の更新も踏まえ、出典を明記する。 |

図 事例集フォーマット

分野：道路空間（歩行空間）

■KOBEパークレット（兵庫県神戸市）


| | |
|----------|---|
| 主体 | 【主催】三宮中央まちづくり協議会、神戸市 |
| | 【協力】神戸学術工科大学 |
| 実施期間 | 2016年10月13日～（継続中） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心の道路である三宮中央通り（神戸市）のリデザインの一環で、憩いや賑わい創出の新たな取り組みとして実施 ・「KOBEパークレット」を3基設置  <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、644人/10時間（パークレット3基の合計） ・最大利用時間帯は、14～16時頃で、約120人/時（パークレット3基の合計） ・設置前後区間の歩行者交通量を比較すると、KOBEパークレットを設置していない区間に比べ、設置している区間の交通量が多くなる傾向が確認 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域による持続可能な日常管理方法 ・喫煙やポイ捨て等の利用マナー ・最適な囲いの高さの設定 など |
| 出典 | http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2017/03/20170328300301.html |

図 （参考）「KOBE パークレット」の事例を記載した例

2.1.2 事例調査

メンバー各社により収集した事例は下記表の通りである。また収集した事例を次頁以降に示す。

表 収集事例一覧（1/2）

| NO. | 分野 | カテゴリ | 概要・事業名称等 | 場所 | 作成(※) |
|-----|--------|------|-------------------------|--------------|------------|
| 1 | 道路空間 | 歩行空間 | ハカタストリートバル | 福岡県福岡市 | 福山 |
| 2 | | | 三休橋筋ガス燈 プロムナード整備 | 大阪府大阪市 | |
| 3 | | | 大通すわろうテラス | 北海道札幌市 | |
| 4 | | | KOBE パークレット | 兵庫県神戸市 | |
| 5 | | | 定禅寺通り | 宮城県仙台市 | |
| 6 | | 車両空間 | 国際通りトランジットモール | 沖縄県那覇市 | 中電 |
| 7 | | 歩道等 | 国家戦略特区を活用した事業 | 福岡県北九州市 | |
| 8 | | 歩道 | 歩道空間における オープンカフェの実施 | 神奈川県横浜市 | |
| 9 | | 車道 | 大分中央通り歩行者天国 | 大分県大分市 | |
| 10 | | 歩道 | 蔵本通りの屋台 | 広島県呉市 | 荒谷 |
| 11 | 交通施設空間 | 駅前広場 | 日向市駅前広場 | 宮崎県日向市 | |
| 12 | | 歩道橋 | あそべるとよたプロジェクト | 愛知県豊田市 | |
| 13 | | 鉄道橋 | 大崎駅東西自由通路 | 東京都品川区 | 復建 |
| 14 | 河川空間 | — | 隅田公園オープンカフェ | 東京都台東区 | 地域 未来 |
| 15 | | | とんぼりリバーウォーク | 大阪府大阪市 | |
| 16 | | | 刈谷田川防災公園 | 新潟県見附市 | |
| 17 | | | かのがわ風のテラス | 静岡県沼津市 | |
| 18 | | — | 楓橋ウッドデッキ 中央公園 6 ブロック | 広島県呉市 | ランドブレ イ |
| 19 | | — | 日本橋川, 神田川 | 東京都 | |
| 20 | | — | アクテラス | 千葉県柏市 | |
| 21 | | — | ガワフェス | 広島県広島市 | |
| 22 | | — | わかやま水辺プロジェクト 社会実験 | 和歌山県 和歌山市 | |

表 収集事例一覧(2/2)

| NO. | 分野 | カテゴリ | 概要・事業名称等 | 場所 | 作成(※) |
|-----|------------------------------|-----------------------------|----------------|------------------------|---------|
| 23 | 広場・自然空間 | 公園 | 富山県富岩運河環水公園 | 富山県富山市 | 復建 |
| 24 | | | 天王寺公園てんしば | 大阪府大阪市 | |
| 25 | | | 目黒天空公園 | 東京都目黒区 | |
| | | | オーパス夢広場 | | |
| 26 | | | 水上公園 | 福岡県福岡市 | |
| 27 | | 公園一体型宿泊施設 「INN THE PARK」 | 静岡県沼津市 | | |
| 28 | | ポケット パーク | わいわい!!コンテナ 2 | 佐賀県佐賀市 | |
| 29 | | 公園 | 豊砂公園 | 千葉県千葉市 | |
| 30 | | | 稲毛海浜公園 | 千葉県千葉市 | |
| 31 | | | 岡崎公園 ロームシアター京都 | 京都府京都市 | |
| 32 | | 公共施設空間 | — | 元理科室で仕込む美酒 | |
| 33 | 公衆トイレで朝食を | | | イギリスロンドン | |
| 34 | 市役所×まんがの幸せな関係 | | | 東京都立川市 | |
| 35 | 岡山県総合福祉 ボランティア・NPO 会館 | | | 岡山県岡山市 | |
| | 36 | | | 北広島団地 地域サポートセンターともに | 北海道北広島市 |
| 37 | HISTERRACE 奈良(仮称) | | | 奈良県奈良市 | |
| 38 | 網小医院 | | | 宮城県牡鹿町 | SRC |
| 39 | 学校法人国際総合学園 JAPAN サッカーカレッジ | | | 新潟県聖籠町 | |
| | 40 | | | 高齢者大学校あかねが丘学園 | |
| 41 | 名護市営市場 | | | 沖縄県名護市 | |
| 42 | かすみがせき保育室 | | | 東京都 | |
| 43 | 福岡市立有住小学校 こぐま保育園分園 | | | 福岡県 | |
| | 44 | | | ギャラリー「野月舎」 | |

(※) 福山：福山コンサルタント、中電：中電技術コンサルタント

荒谷：荒谷建設コンサルタント、地域未来：地域未来研究所、復建：復建調査設計、

SRC：サーベイ・リサーチ・センター

分野：道路空間（歩行空間）

■ハカタストリートバル（福岡県福岡市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 【主催】博多まちづくり推進協議会 【協力】福岡市？ |
| 実施期間 | 2017年5月24日～6月4日（今年3月に続く2回目） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】 はかた駅前通りにおけるMICE参加者のおもてなし空間の形成と新たな都心のにぎわいづくり、博多駅周辺の回遊性向上を目的に、国家戦略道路占用事業として実施。白を基調としたスタイリッシュなソファ席スペースと長さ30メートルのカウンターを配したバル空間には、博多エリアを中心とした飲食店全6店舗（3月実施時は5店舗）が出店し、ランチやディナーなどのお食事を楽しめるほか、ワークスペースとしてもご利用いただけるよう、Wi-Fi環境も整えている。 ※はかた駅前通りでは、現在、車道を狭くして歩道を広げる工事を実施中。</p>  <p>#earlysummer HAKATA STREET Bar</p> <p>【効果】 1回目（2017年3月）：11日間で約6,500人が利用 2回目（2017年5月）：12日間で約5,700人が利用</p> |
| 出典 | 博多区総務部企画振興課資料 http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/58209/1/kokkasenryakudourosenyousizigyo_hakatasutori-tobaru.pdf |



分野：道路空間（歩行空間）

■三休橋筋ガス燈・プロムナード整備（大阪府大阪市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 【主催】三休橋筋愛好会、大阪市？ 【協力】大阪ガス、三休橋筋商店街、船場げんきの会？ |
| 実施期間 | 2000年～まちづくり活動 2012年プロムナード整備（ガス燈） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】 三休橋筋は大阪都心に位置する船場地区の真ん中を南北に貫く2 kmの道路でレトロなビルや史跡、芸能などが残っている。業務単機能のまちからの改変に向けて、2000年頃から市民団体によるまちづくり活動が始まり、活動が進むにつれて行政機関や地元企業などが関わり、大きな動きに変化してきた。 大阪市建設局では、2003年に三休橋筋のプロムナード整備構想が浮上し、2012年に竣工。それにあわせて地元企業から地元組織へガス燈が寄贈され、賑わいを創出する店舗立地も加速。</p>  <p>【効果】 公共空間整備がおこなわれた北エリアのほうが、おこなわれなかった南エリアに比べて早期に空間変容（事務所⇒店舗増）が生じた</p> |
| 出典 | 船場げんきの会： http://semba-genki.net/281 大阪大学論文： http://www.cpij-kansai.jp/cmt_kenhap/top/2015/05.pdf |


分野：道路空間（歩行空間）

■大通すわろうテラス（北海道札幌市）

| | |
|------------------|--|
| <p>主体</p> | <p>札幌大通まちづくり株式会社</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2015年6月～</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ事業： サッポロナナイロ前及びパルコ前の歩道上にそれぞれオープンカフェを設置し、事業主体が運営。 ・広告事業： 広告塔を3基設置し、オープンカフェと一体となった広告を展開。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートによると、利用者は概ね満足し、地区の魅力向上に寄与しているとの評価。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬機関の施設の利活用方策について検討が必要。 |
| <p>出典</p> | <p>道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン-改訂版-（国土交通省、H28.3）</p> |


分野：道路空間（歩行空間）

■KOBEパークレット（兵庫県神戸市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 【主催】三宮中央まちづくり協議会、神戸市 |
| | 【協力】神戸学術工科大学 |
| 実施期間 | 2016年10月13日～（継続中） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心の道路である三宮中央通り（神戸市）のリデザインの一環で、憩いや賑わい創出の新たな取組みとして実施 ・「KOBEパークレット」を3基設置  <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、644人/10時間（パークレット3基の合計） ・最大利用時間帯は、14～16時頃で、約120人/時（パークレット3基の合計） ・設置前後区間の歩行者交通量を比較すると、KOBEパークレットを設置していない区間に比べ、設置している区間の交通量が多くなる傾向が確認 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域による持続可能な日常管理方法 ・喫煙やポイ捨て等の利用マナー ・最適な囲いの高さの設定 など |
| 出典 | http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2017/03/20170328300301.html |



分野：道路空間（歩行空間）

■定禅寺通り（宮城県仙台市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 定禅寺通利活用方策検討委員会 |
| 実施期間 | 通年 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通りは、戦災復興事業として、幅員46mの広幅員の街路として整備された仙台市を代表する街路である。 ・中央帯として幅員12mの植樹帯と遊歩道が整備され、ウッドデッキ、ベンチ、ステージ、広場等が整備されている。この空間にて「光のページェント」、「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」が開催されており、市民の文化、芸術活動の場として活用されている。  <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺ストリートジャズフェスティバル in 仙台 来場者数：70万人（2016年9月10日・11日） ・Sendai光のページェント 来場者数：276万人（2009年12月2日～31日） |
| 出典 | <p>国土技術政策総合研究所 http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryounn/tnn/tnn0808pdf/ks080809.pdf 国際交通安全学会誌論文 http://www.iatss.or.jp/common/pdf/publication/iatss-review/30-4-09.pdf</p> |

分野：道路空間（車両空間）

■国際通りトランジットモール（沖縄県那覇市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 那覇市国際通り商店街振興組合連合会 |
| 実施期間 | 2007年2月11日～（継続中）※毎週日曜日12時～18時 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者と公共交通を優先させた町の賑わいの創出を目的として、慢性的な交通渋滞や郊外への大型店舗の進出等により地元客離れが進んでいる国際通りで実施。 ・一般車両の通行を規制し歩行者天国とし、パフォーマンスエリアを設けイベントを開催。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や親子連れを中心に多くの人出があり、これまでの実証実験を含め、普段の平均1.4倍、最大では2倍近い人出を確認。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントがマンネリ化している。 ・路線バスやレンタカーでアクセスしにくい。 |
| 出典 | <p>中心市街地活性化協議会 http://machi.smrj.go.jp/machi/closeup/town/080606okinawa.html 那覇市議会議事録（平成29年6月定例会） http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/</p> |

分野：道路空間（歩道等）

■国家戦略特区を活用した事業（福岡県北九州市）

| <p>主体</p> | <p>地域団体</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---|--------|------|------|----------------|--------------------|--------|----------------|-------------------|-------|-----------------|--------------------------|------|-----------|-----------------|-------|--------------------------|------|
| <p>実施期間</p> | <p>2016年4月18日～（継続中）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>目的 概要</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家戦略特別区域法上の国家戦略道路占用事業を実施する北九州市内の地域団体が、道路空間を活用したイベント等を開催し、まちの賑わいを創出することで国内外の人の交流やインバウンドの増加を図るもの。 ・ 小倉2か所，門司港2か所，八幡東1か所，黒崎2か所で認定・実施 <div data-bbox="552 909 1219 1285" data-label="Image"> </div> <p>【効果】</p> <p>【事業の経緯／実績】 平成 28 年 4 月 ～ 平成 29 年 3 月</p> <table border="1" data-bbox="501 1429 1289 1722"> <thead> <tr> <th>実施団体</th> <th>実施場所</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共空間リソース利活用勉強会</td> <td>船場町1号線・6号線（クロスロード）</td> <td>約135万人</td> </tr> <tr> <td>鳥町まちづくり会議推進協議会</td> <td>魚町11号線（魚町サンロード鳥町）</td> <td>約12万人</td> </tr> <tr> <td>「つながる絆！八幡」実行委員会</td> <td>八幡停車場線 （けやきテラスプロジェクト）</td> <td>約3万人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">門司港レトロクラブ</td> <td>東港町2号線（門司港フェスタ）</td> <td>約17万人</td> </tr> <tr> <td>西海岸7号線 （門司港シーサイドパーティ）</td> <td>約3万人</td> </tr> </tbody> </table> | 実施団体 | 実施場所 | 延べ人数 | 公共空間リソース利活用勉強会 | 船場町1号線・6号線（クロスロード） | 約135万人 | 鳥町まちづくり会議推進協議会 | 魚町11号線（魚町サンロード鳥町） | 約12万人 | 「つながる絆！八幡」実行委員会 | 八幡停車場線 （けやきテラスプロジェクト） | 約3万人 | 門司港レトロクラブ | 東港町2号線（門司港フェスタ） | 約17万人 | 西海岸7号線 （門司港シーサイドパーティ） | 約3万人 |
| 実施団体 | 実施場所 | 延べ人数 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公共空間リソース利活用勉強会 | 船場町1号線・6号線（クロスロード） | 約135万人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鳥町まちづくり会議推進協議会 | 魚町11号線（魚町サンロード鳥町） | 約12万人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 「つながる絆！八幡」実行委員会 | 八幡停車場線 （けやきテラスプロジェクト） | 約3万人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 門司港レトロクラブ | 東港町2号線（門司港フェスタ） | 約17万人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 西海岸7号線 （門司港シーサイドパーティ） | 約3万人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>出典</p> | <p>http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/02000038.html http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000779923.pdf</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |


分野：道路空間（歩道）

■歩道空間におけるオープンカフェの実施（神奈川県横浜市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 主催：日本大通り活性化委員会 協力：横浜市 |
| 実施期間 | 2005年7月23日～11月末(社会実験) 現在もオープンカフェ営業 |
| 目的 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2005年に道路占有ガイドラインのモデルケースとして社会実験という形で実施された。 ・ 活性化委員会が横浜市と協定を結び、管理、各店舗の出店に関する調整を行っている。 ・ 道路を一時的に活用し、イベントも開催している。 ・ 各店舗が道路占用料を支払って運営する形式。  <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗の個性が通りとしてのバラエティとなり魅力を高める結果となった。 ・ 利用者アンケートでは、オープンカフェについては好意的であり、継続を望んでいることが明らかとなった。 ・ 参加店舗も事業の継続に意欲的である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本大通りのブランドイメージの構築と定着が重要となる。 |
| 出典 | http://tochi.mlit.go.jp/wpcontent/uploads/2011/02/manual123.pdf http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00039/200911_no40/pdf/39.pdf |


分野：道路空間（車道）

■大分中央通り歩行者天国（大分県大分市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 大分市中央通り歩行者天国推進委員会 |
| 実施期間 | 2005～2007年、（一時中断）、2016年10月～ |
| 目的 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分駅前の商店街を含む中心市街地に賑わいを取り戻そうと企画されたもの。 ・ もともとは2005～2007年まで、市が事務局となり、中央通りの道路の交通社会実験として行われていた。 ・ 商店街の出店した飲食ブース、一般参加によるパフォーマンスを披露するフリーゾーンなど <div style="text-align: center;">  </div> <p>【効果】 来場者実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年10月16日（日） 約3万人 ・ 平成29年1月28日（土） 約3万1千人 ・ 平成29年4月16日（日） 約2万8千人 <p>大分市中央通り歩行者天国通行量調査報告書 （平成28年度） http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1491220457385/files/houkokusho.pdf</p> |
| 出典 | http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1491220457385/index.html http://www.realpublicestate.jp/estate/3400/ |

分野：道路空間（歩道）

■蔵本通りの屋台（広島県呉市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 呉市 |
| 実施期間 | 1965年～ |
| 目的 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の中心部・蔵本通りの屋台は「赤ちようちん通り」とも呼ばれ、呉の名物と親しまれ全国的にも有名な貴重な観光資源である。 ・ 通りの整備に併せて、屋台専用の水道や配水管、電気コンセントを整備したり、歩道の植栽を移動し、道幅を拡張するなど、全国的にも珍しく積極的に行政が取り組んでいる。  <p>【応募資格要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募申請日において、呉市に住民登録を置く年齢満20歳以上の個人であること。 （法人・グループでの応募はできません。） ・ 屋台営業を円滑に遂行できる安定的かつ健全な財務能力を有すること。 ・ 応募者について、市税の滞納がないこと。 ・ 提案する品目について、あらかじめ呉市保健所生活衛生課と協議済みであること。 <p>ただし、次のいずれかに該当する場合は応募ができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵本通りの屋台に関する要綱第4条第1項の各号に該当する場合 ・ 既に蔵本通りにおいて屋台営業を行っているもの <p>【他地域で成立するための要点（論文より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初に地元の人間から屋台を盛り上げ、屋台自体も常時10軒を超える規模で営業する必要がある。 ・ 昼と夜の観光客の流れをつくるために、昼の観光資源を成立させ、その連携を図ることが重要。 |
| 出典 | http://www.kure-opencollege.jp/Material/Chiiki/2004/4.pdf https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/10/29yatai.html http://www.kurecci.or.jp/kanko/shinnyatai/yatai.html |

分野：交通施設（駅前広場）

■日向市駅前広場（宮崎県日向市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 日向市 |
| 実施期間 | 2006年～2009年 |
| 目的 概要 | <p>【まちの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市は宮崎県北部に位置する都市である。日向市駅を中心とする中心市街地は、「人・物・情報等の集発散の場」として、昔から親しまれたまちである。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の衰退が進んでおり、市街地の整備改善策として、県による連続立体交差事業と同時に、日向市駅周辺土地区画整理事業、商業集積事業を実施し、3事業を一体的に進めることで駅周辺の再整備に取り組んだ。クオリティの高い景観整備が実現した。 <div data-bbox="477 1093 1353 1379"> </div> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施により歩行者・自転車交通量が、整備前に比べ約45%増加 市民企画のイベント数が約1.8倍、集客数も約7.3倍となった。 ・県北の商店街地価の最高値は、近年、日向市が延岡市を逆転している。 ・日常的な憩いの場となっている。 |
| 出典 | http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/dorokeikan/pdf/009.pdf |




分野：交通施設（歩道橋）

■あそべるとよたプロジェクト（愛知県豊田市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | あそべるとよた推進協議会（豊田市含む） |
| 実施期間 | 2017年4月21日～12月10日 |
| 目的 概要 | <p>【目的と概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的ににぎわいのある風景づくりを目指し、ルールが異なる官と民の広場の管理者が協力して、一体的に活用できるしくみを整えるため、2015年から実施。 ・ 2015年9月には、ペDESTリアンデッキでは、道路空間から広場空間へ位置づけを変え、活用の可能性を広げた。 ・ 2016年には、公募事業者による飲食事業を約半年実施。  <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食事業で財源を確保し、清掃、現場調整をはじめとした広場のマネジメントを実施する体制が構築できた。 ・ 広場の清掃、安全・安心な空間づくり、無料で座れる空間の提供など公的な資金に頼らず、民間資金を元手に、市民の憩い空間を提供できた。 （2016年4/15～10/31の事業より） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平日の昼間における、にぎわいの不足 ・ 一般受付の広場使用者、事業者、協議会との調整 ・ 一般受付の企画に対するクオリティコントロール不足 （2016年4/15～10/31の事業より） |
| 出典 | http://asoberutoyota.com/ |

分野：交通施設（鉄道橋）

■大崎駅東西自由通路（東京都品川区）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 一般社団法人大崎エリアマネジメント 協力：品川区 |
| 実施期間 | 2008年6月～ |
| 目的 概要 | <p>【目的と概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎駅東西自由通路（夢さん橋）上に情報発信設備が設置されたことに伴い、これらの空間を使用して情報発信事業を展開。 ・地域・行政情報や身近なビジネス情報など、幅広い映像コンテンツを毎日約14時間にわたって放映。 ・35枠のボードからまちづくり情報や地元企業、店舗等の情報を発信。 <p>▼大崎ウェルカムビジョン</p>  <p>▼ギャラリー・ボード</p>  <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業広告等は有料で、稼働率は約65%（平成27年度） ・広告情報発信事業収入：45,666千円（〃） 〃 支出：9,230千円（〃） ・広告情報発信事業収入を経済基盤として、公共空間維持管理業務、まちづくり推進業務等を展開 <p>▼自由通路を利用したイベント</p>  |
| 出典 | http://www.ohsaki-area.or.jp/organization/ http://www.shinagawa-yume.com/index.html |


分野：河川空間

■隅田公園オープンカフェ（東京都台東区）

| | |
|------------------|--|
| <p>主体</p> | <p>河川管理者：東京都知事（一級河川 隅田川） 占有主体：タリーズ・コーヒー・ジャパン(株)他 合意方法：隅田川オープンカフェ協議会</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2012年12月10日指定（許可期間3年間，※継続中）</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川占用許可準則改正を受け設置した，都内初の民間事業者による河川敷地を利用した「オープンカフェ」。 ・隅田川の水辺とその周辺地域に恒常的な賑わいを創出し、地域の活性化を図ることを目的とする。 ・2店舗のカフェが営業中。 <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行組織の「隅田公園オープンカフェ運営連絡会」により，地元の方々を中心として，イベントを開催 <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年「隅田川絶景niteカルチャー候」実施 ○平成27年「スミカル2015 絶景ピアテラス」実施 <div data-bbox="699 1115 1142 1429" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="523 1435 1305 1715" data-label="Diagram"> <p>事業スキーム</p> <pre> graph TD Tokyo[【河川管理者】東京都] -- "許可申請 占用料" --> Operator[【占用主体】出店者] Tokyo -- "占用許可" --> Operator Operator -- "選定" --> Association[隅田公園オープンカフェ協議会 学識経験者、地元団体代表、 地域住民、行政（東京都、台東区）] Association -- "選定" --> Operator Operator --- Activities["（・日常清掃活動 ・出店者会主催のイベント等の実施 ・地域住民、町会、企業と協働した活動の実施 ・店舗区画内のライトアップ等、水辺カフェとしての演出）"] </pre> </div> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカイツリーからの回遊を促し，周辺地域全体の活性化に貢献。 |
| <p>出典</p> | <p>●河川空間のオープン化活用事例集（H29.6）／国土交通省水管理・国土保全局 ●台東区HP https://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/midokoro/sumidatanoshimi/cafe/opc1.html ●「ミズベリング」HP https://mizbering.jp/archives/20279 ●地域の元気創造プラットフォーム http://www.chiikinogennki.soumu.go.jp/jirei/tokyo/13106/2014-0226-0924-12.html</p> |

分野：河川空間

■とんぼりリバーウォーク（大阪府大阪市）

| | |
|------------------|--|
| <p>主体</p> | <p>河川管理者：大阪市長（一級河川 道頓堀川） 占有主体：南海電気鉄道(株) 合意方法：道頓堀川水辺空間利用検討会</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2012年4月1日指定（許可期間3年間，※継続中）</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】 ・道頓堀川に、親水性の高い憩いの空間として平成7年より遊歩道「とんぼりリバーウォーク」を整備。平成17年度6月よりオープンカフェなどの社会実験を実施し、賑わいを創出に取り組んでいる。</p> <p>【特徴】 ・平成24年度より民間鉄道会社が占有主体（3年毎に公募で選定）となり、エリアで営業する民間事業者、イベント利用者などからの使用料で収益を得ている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  <p>遊歩道整備後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>オープンカフェ</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>事業スキーム</p>  </div> </div> <p>【効果】 ・年々オープンカフェやイベントが増加しており、遊歩道の賑わい創出に寄与している。</p> |
| <p>出典</p> | <p>●河川空間のオープン化活用事例集（H29.6）／国土交通省水管理・国土保全局 ●「とんぼりリバーウォーク」事務局HP http://www.tonbori.jp/</p> |

分野：河川空間

■刈谷田川防災公園（新潟県見附市）

| | |
|------------------|---|
| <p>主体</p> | <p>河川管理者：新潟県知事（一級河川 刈谷田川） 占有主体：新潟県見附市長 合意方法：刈谷田川利活用検討委員会</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2012年10月26日指定（許可期間10年間）</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災公園を整備し、「道の駅」の機能を加えて，“人・モノ・情報の交流拠点”として位置付けている。 <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H16の水害で被災した地域において，流水の阻害となっていた屈曲部の改良（旧河川埋戻し）により生じた敷地を活用。（約3ha） ・市委員や行政などによる検討委員会を組織し，将来的な利活用のあり方をWSを通じて協議。（H22.1に成果） <p>道の駅 パティオにいがた（H25.8開業）</p>   <p>災害対策のための河川改良で生じた敷地を活用</p>  <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプなどができる防災公園は，市内外から多くの来訪があり，賑わいをみせている。 ・道の駅は年間100万人が訪れ，年間売上高は3億円を超えるなど，地域活性化，産業振興に貢献。 |
| <p>出典</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●河川空間のオープン化活用事例集（H29.6）／国土交通省水管理・国土保全局 ●見附市HP http://www.city.mitsuke.niigata.jp/7352.htm ●新潟県HP http://www.pref.niigata.lg.jp/nagaoka_seibi/1235592109516.html |




分野：河川空間

■かのがわ風のテラス（静岡県沼津市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 河川管理者：中部地方整備局長（一級河川 狩野川） 占有主体：沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会 合意方法：沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会 |
| 実施期間 | 2014年2月26日指定（許可期間3年間） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かのがわ風のテラス」は、沼津市中心部を流れる狩野川右岸・上土町周辺に整備された階段堤一帯の名称。 ・右岸階段堤を、狩野川の魅力とロケーションを活かした、市民の憩いの場として活用し、まちの魅力や活力の向上につながる取組を推進。（イベント開催、広場と一体をなすオープンカフェ、バーベキュー等） <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいの場創設の取組が、H26全建賞(全日本建設技術協会)を受賞。 ・協議会の一員である沼津あげつち商店街が、活動が評価され、経済産業省の「はばたく商店街30選2016」に選定。   <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期に応じたイベント等が開催され来客数は増加傾向。バーベキュー利用者も多く、夏休み期間はほぼ毎日利用されている。 |
| 出典 | <ul style="list-style-type: none"> ●河川空間のオープン化活用事例集（H29.6）／国土交通省水管理・国土保全局 ●沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会HP http://kanogawa.fun-numazu.info/ |




分野：河川空間

■楓橋ウッドデッキ・中央公園6ブロック（広島県呉市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 河川管理者：広島県河川課（二級河川 堺川） 占有主体：呉市土木部 事業主体：呉市土木部土木維持課公園維持グループ 合意方法：産業建設委員会（呉市） |
| 実施期間 | 2017年10月15日～2018年1月12日（未実施） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路と公園，河川とが一体的に整備された市民の憩いの空間において，市中心部の賑わいの更なる創出のため，水と緑の空間にマッチした，誰もが集い，憩い，楽しめる空間づくりを目指す。そのため、同エリアにおいて期間限定での移動式店舗営業を行う個人や団体を公募し，施設の利用の促進と，今後の活用に向けた課題の検証を行う。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店のみ出店可能 ・午前10時から午後8時までの営業時間で，毎週金曜は一斉出店日として義務付けられている。 <p style="text-align: center;">▼実施場所</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>楓橋デッキ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>中央公園6ブロック</p>  </div> </div> <p>【今後の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店者や利用者へのアンケート調査を実施するほか，一斉出店日を設定するなどして，施設利用の効果，改善点及び集客上の課題を抽出する。 ・隣接する屋台との関係については時間帯など要検討。 <p style="text-align: right;">▼呉屋台（蔵本通り）</p>  |
| 出典 | <ul style="list-style-type: none"> ●中国新聞「堺川沿いににぎわいの場」2017年9月21日付，28面 ●呉市HP https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/70/29idousikitenpo.html ●画像（呉屋台）：瀬戸内Finder HP https://setouchifinder.com/ja/detail/897 |

分野：河川空間

■日本橋川，神田川（東京都）

| | |
|------------------|---|
| <p>主体</p> | <p>河川管理者：中央区長（日本橋川 一級河川），中野区長（神田川 一級河川） 事業主体：都市楽師プロジェクト（鷲野宏デザイン事務所）</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2010年10月～</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】 ・クルーズ船に乗船し「日本橋」や「常磐橋」といった名橋や建築物を至近で眺めたり、くぐったりするだけでなく、声楽隊等による演奏が船上で行われ、橋の下に入る前後や橋の部材で変化する音色を楽しむ。</p> <p>【効果】 ・「日本橋の景観を台無しにしている」と問題視される首都高真下の日本橋川において、その空間をプラスに活かして、まちづくりや都市計画を考えるきっかけとなっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="550 1328 847 1547">  </div> <div data-bbox="1005 927 1217 965"> <p>▼プログラム</p> </div> <div data-bbox="922 992 1294 1532">  </div> </div> <div data-bbox="550 1570 1270 1854">  </div> |
| <p>出典</p> | <p>●MIZBERING HP https://mizbering.jp/archives/16774 ●都市楽師プロジェクトHP http://toshigakushi.com/index.html</p> |

分野：湖沼空間

■アクテラス（千葉県柏市）

| | |
|------------------|--|
| <p>主体</p> | <p>調整池管理者：柏市 占有主体：柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）等</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2016年11月～</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が近づけなかった既存の調整池を“景観資源”として捉え、水辺に人が近づける快適な空間に改修した。 ・階段やスロープで水辺に下りることができ、水面を眺めてくつろげるデッキ空間、日当たりの良い法面のベンチなどが設置されているほか、周辺には商業施設も開業予定。 ・調整池としての機能も十分に確保している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▼改修前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼改修後</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>▼位置図</p>  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>▼平面図</p>  </div> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修前の調整池は周囲に高さ1.8mの転落防止柵があり、水辺に近づくことはできなかったが、人々が憩うスポットとして新たに生まれるまちの中核的な役割を果たしている。 |
| <p>出典</p> | <p>●新・公民連携最前線 HP http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/tk/PPP/434167/030700009/?ST=ppp-print</p> |

■ガワフェス（広島県広島市）

| | |
|------------------|--|
| <p>主体</p> | <p>河川管理者：中国地方整備局（一級河川 太田川） 占有主体：中国地方整備局 事業主体：横川商店街振興組合</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2017年8月11日～</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横河商店街振興組合が初めて主催する夏のイベント。 ・川や河岸緑地でのアクティビティやお絵かきデジタル花火などの各種ワークショップのほか、河岸緑地特設ステージでのジャズ、ショーロなどの音楽演奏も行われた。 <p style="text-align: center;">▼イベントチラシ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div> |
| <p>出典</p> | <p>●横川商店街振興組合 HP http://e-yokogawa.net/archives/985</p> |


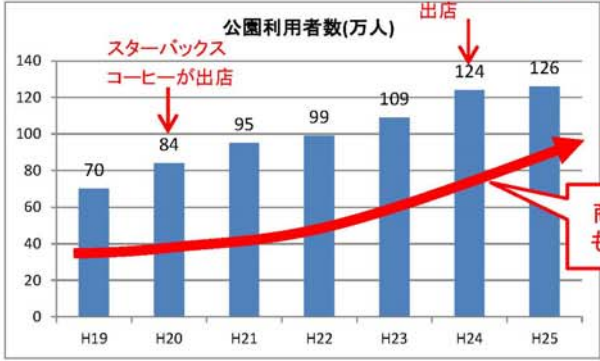
分野：河川空間

■わかやま水辺プロジェクト・社会実験（和歌山県和歌山市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | <p>河川管理者：和歌山河川国道事務所（支川 市堀川） 占有主体：和歌山河川国道事務所 事業主体（行政）：和歌山市政策調整課 事業主体（民間）：（株）紀州まちづくり舎、（株）水辺総研等</p> |
| 実施期間 | 2017年9月3日～11月20日(事業自体は2016年12月から) |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルージングやSUP（スタンディング・アップ・パドルボート）体験スクールなどを実施のほか、川沿いの駐車場の一部と遊歩道に滞留拠点「MIZUBECOMMON」を設け、飲食やイベントスペースの創出やキッチンカー等による移動販売を行う。また、イベント実施時には対岸の建物や並木のライトアップも行う。 ・舟運事業や河川空間の民間活用によるにぎわいや回遊性の創出、「京橋親水公園」の整備計画への反映検討が目的。 <p>▼事業対象範囲</p>  <p>▼MIZUBECOMMONの様子</p>  <p>▼仮設棧橋</p>  <p>【結果の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会実験の結果を踏まえ、水辺活用について河川占有を受けられるよう「かわまちづくり計画」の来年度策定を目指す。 |
| 出典 | <p>●和歌山市 HP http://www.city.wakayama.wakayama.jp/_res/projects/default_project/_page/001/017/645/20170901-1.pdf ●わかやま水辺プロジェクト HP https://www.wakayamamizube.com/</p> |

分野：広場・自然空間（公園）

■富山県富岩運河環水公園（富山県富山市）

| <p>主体</p> | <p>公益財団法人 富山県民福祉公園（指定管理）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|----|----------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <p>実施期間</p> | <p>—</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR富山駅から徒歩9分の場所に立地しており、市道にも面した河川敷の公園となっている。 ・ 園内には体育館や親水広場、図書館等の公的な施設のほか、商業施設が立地している。 ・ 同公園は、約20年前から親水公園としての整備に着手し、H23年に整備完了した。富山県が飲食店を設置・管理する民間事業者を公募し、スターバックスコーヒー等の飲食店が出店した。スターバックスコーヒーは、H20年より、フランス料理店はH23年にそれぞれ出店し、それとともに公園利用者数も増加している。  <p>【効果】</p>  <p>公園利用者数(万人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p>スターバックス コーヒーが出店</p> <p>フランス料理店が 出店</p> <p>商業施設の出店とともに利用者数が増加</p> | 年度 | 利用者数(万人) | H19 | 70 | H20 | 84 | H21 | 95 | H22 | 99 | H23 | 109 | H24 | 124 | H25 | 126 |
| 年度 | 利用者数(万人) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H19 | 70 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H20 | 84 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H21 | 95 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H22 | 99 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H23 | 109 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H24 | 124 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25 | 126 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>出典</p> | <p>http://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kaigi/meeting/2013/wg3/chiiki/150423/item1-2.pdf#search=%27%E5%85%AC%E5%9C%92%E6%B4%BB%E7%94%A8+%E4%BA%8B%E4%BE%8B%27</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |


分野：広場・自然空間（公園）

■天王寺公園てんしば（大阪府大阪市）

| | |
|------------------|---|
| <p>主体</p> | <p>大阪市（事業者 近鉄不動産）</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2015年10月1日～</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「天王寺・阿倍野地区」の活性化に向け、官民連携により、天王寺公園のエントランス部（約25,000㎡）を、多目的に利用できる広大な芝生広場を中心とする新たな賑わいゾーンとして再整備。 ・周辺の動物園・美術館・慶沢園などと一体に、自然を満喫できる憩いの場、そして多様なアクティビティ、地域交流、賑わいイベント、周遊観光など、“公園と街の新たな楽しみ方”が生まれる拠点となることをめざす。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアル後は、地元や周辺地域から訪れる子育て世代から高齢者までに加えて、国内外からの観光客、買い物客等の幅広い層の来園者で賑わっており、あべの天王寺エリアの更なる活性化の核になると期待されている。   |
| <p>出典</p> | <p>大阪市HP（2015/9/3） グッドデザイン賞HP （http://www.gmark.org/award/describe/44374）</p> |




分野：広場・自然空間（公園）

■目黒天空公園・オーパス夢広場（東京都目黒区）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 首都高速株式会社 目黒区（占有者） |
| 実施期間 | 2013年3月～ |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】 地上約7～35mの高さに位置する大橋ジャンクションの屋上には、「天空の庭」をコンセプトに約7,000㎡の目黒区立公園の整備を行った。この公園は日本全国にとどまらず世界に日本の文化が発信できるよう、四季折々の自然や和の文化が楽しめる回遊式の和風庭園となっている。首都高速道路（株）はこの公園の計画段階から関わり、区から設計・施工を受託し整備をおこなった。公園へは2つの再開発ビル（プリズムタワー、クロスエアワー）のそれぞれ5階と9階、国道246号を跨ぐ横断歩道橋（名称：オーパスブリッジ）、地上（オーパス夢ひろば）とのエレベータから直接出入りできるようになっており、平成25年3月30日に開園した。また、ジャンクションのループ内側には約3,000㎡の多目的広場である「オーパス夢ひろば」を整備しており、地域のイベントや区民等のふれあい、スポーツ、健康づくり等のレクリエーションの場としても利用され、目黒天空庭園とともに地域に愛される憩いの場や地域の活性化への役割が期待される。</p> <p>【効果】 換気所屋上自然再生緑地「おおはし里の杜」の整備によって、鳥類9種、昆虫類が92種、水生昆虫類が16種類など多くの生物が観測され、さらに、近くの公園の池から捕ったメダカ等も繁殖するなど、自然再生による生物多様性の取組みが実証できた。</p>  |
| 出典 | 一般財団法人 道路新産業開発機構 http://www.hido.or.jp/14gyousei_backnumber/2013data/1307/1307oohashi_JCT.pdf |



分野：広場・自然空間（公園）

■水上公園（福岡県福岡市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 西日本鉄道株式会社 |
| 実施期間 | 2016年7月～ |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】 水上公園は大正13年に福岡市最初の街区公園として、供用を開始し、都心部の貴重なオープンスペースとして活用されてきたが、近年は利用者が減少していた。そのため、下水道施設の老朽化に伴う改修工事に併せて、都心部の水辺空間を活用した賑わい・憩い空間の拠点となるよう高質な建築物などによる休養機能の向上や賑わいの創出、シンボリックな景観の形成等を図るため、水上公園の一部へ民間事業者によって休養施設を設置した。</p>   <p>【効果】 公園再整備前と比較すると、市民や来訪者が公園からの水辺の眺望を楽しんだり、人工芝に座ってくつろぐ姿を多く目にするようになり、賑わいが創出された。一方で、レストラン等の収益事業は運営主管課と別部局であるため、事業継続性の評価の検討が難しい状況にある。</p>  |
| 出典 | 福岡市資料 |



分野：広場・自然空間（公園）

■公園一体型宿泊施設「INN THE PARK」（静岡県沼津市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市 ・株式会社インザパーク （株式会社オープンエー子会社） |
| 実施期間 | 運営機関：10年以内 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“泊まれる公園”をコンセプトに、宿泊・飲食・自然体験アクティビティの3要素を組み合わせた複合施設。 ・「沼津市立少年自然の家」跡地（愛鷹運動公園内）をリノベーション。 ・公園の総敷地面積は約60.14ha、うち少年自然の家跡地は約9000㎡。 <p>【事業スキーム等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市が実施した公募型プロポーザルにより選定された株式会社オープン・エーが沼津市と基本協定を締結。 ・運営は、都市公園法に基づき公園施設の管理許可及び設置許可を受け、株式会社インザパーク（株式会社オープン・エー子会社）が行う。 ・沼津市では施設改修や維持管理費用の一部を負担。 改修：高圧受電設備の更新など 維持管理：貯水槽の清掃及び滅菌消毒など ・施設許可および管理許可における使用料は、1㎡当たり年額180円を下限という条件で公募。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="470 1518 911 1809">  </div> <div data-bbox="922 1518 1362 1809">  </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> リノベーションした宿泊棟室内 球体型吊りテント </p> |
| 出典 | http://www.city.numazu.shizuoka.jp/renovation/shisetsu/shonenshizen/koubo.htm https://www.innthePark.jp/ |

分野：広場・自然空間（ポケットパーク）

■わいわい!!コンテナ2（佐賀県佐賀市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 主催：佐賀市街なか再生会議 事務局：NPO法人まちづくり機構ユマニテさが |
| 実施期間 | 2012年6月～ |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「佐賀市街なか再生計画」の一環で、中心市街地の空洞化対策の社会実験という位置付けで整備された広場。 ・「図書館コンテナ」「交流コンテナ」「チャレンジコンテナ」「トイレコンテナ」と芝生スペースを設置。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場では、ワークショップや市民活動が繰り広げられ、コーラスグループも結成されるなど、地域の人たちの交流が生まれるきっかけにもなっている。 ・整備後、コンテナ広場の周辺にラーメン店、Tシャツショップ、デジタル工房、サッカー・サガン鳥栖のオフィシャルバー、IT専門スクールなどの店舗が展開。 <div data-bbox="469 1155 995 1442">  </div> <p data-bbox="624 1458 836 1491">図書館コンテナ</p> <div data-bbox="847 1442 1356 1729">  </div> <p data-bbox="938 1733 1278 1767">芝生広場を利用した活動</p> |
| 出典 | http://www.waiwai-saga.jp/about/part1/ http://www.waiwai-saga.jp/about/ |



分野：広場・自然空間（公園）

■豊砂公園（千葉県千葉市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | イオンモール株式会社（管理運営） |
| 実施期間 | 2013年12月～ |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当公園は、約21,000㎡あり、広域公園となっている。 ・幕張メッセの北西、浜田川を渡ったところにある大きな公園。周辺には大規模商業施設があるイオンモールがあり、平日でもご家族連れでにぎわっている。 ・地域と協働で公園の管理・運営を行う「パークマネジメント事業」により、イオンモール株式会社が管理・運営を行っており、期間を定めて様々なイベントが開催されている。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の商業施設と一体となって公園を運営するとともに、イベントの開催による収益を維持管理費の財源に活用 ・多種多様なイベント開催により、子どもから大人まで多くの人でにぎわっている。  |
| 出典 | https://www.city.chiba.jp/mihama/chiikishinko/miryoku_kouen/121toyosuna.html （千葉市HP） |

分野：広場・自然空間（公園）

■稲毛海浜公園（千葉県千葉市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 株式会社ディアーズ・ブレイン |
| 実施期間 | 2016年3月～ |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲毛海浜公園（検見地区）は近年利用者数が低迷しており、賑わいの創出が喫緊の課題であった。 ・事業者の選定に当っては、千葉市都市公園等活用事業者選定委員会を設置し、体外的な透明性や公平性を担保した。また、公園利用者へのアンケート調査を行い、市民ニーズが高い施設を把握しており、一定の必須条件はあるが、基本的には事業者自らの提案によって、整備・維持管理・運営を行うこととしている。 ・主にはレストラン・オープンカフェ・音楽堂・集会場が整備された。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内で多数実施されるスポーツイベントの表彰式がそのまま公園内で開催できるようになった。 ・同公園で検見川地区やヨットハーバー等を除く区域でも民間活力を活かした事業が進められることとなった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>  |
| 出典 | https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/kanri/mihama/kemigawatiku.html （千葉市HP） |



分野：広場・自然空間（公園）

■岡崎公園 ロームシアター京都（京都府京都市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | 京都市・岡崎魅力づくり推進協議会・CCC他 |
| 実施期間 | 2015年10月1日～ |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市では、平成23年3月に「岡崎地域活性化ビジョン」を策定し、平安神宮周辺の岡崎エリアについて「多くの人々が訪れたい新たな賑わいの創出」に向けた様々な取組を進めている。 ・このうち、市民や観光客の新たな憩いの場、文化創造の場、そして楽しく充実した時間を過ごせる空間として、京都会館のリノベーションにあわせ、隣接する平安神宮の参拝道の一部を公園（プロムナード）として再整備。 ・京都会館は、ロームシアター京都として生まれ変わり、蔦谷書店やスターバックスコーヒーが出店しており、岡崎公園と一体なって賑わいを創出している。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（確認中）今後は隣接する平安神宮と一体的となり、岡崎エリアの核となることが期待されている。 |
| 出典 | ロームシアター京都HP |



■元理科室で仕込む美酒（新潟県佐渡市）

| | |
|----------|--|
| 主催 | 尾畑酒造 |
| 実施期間 | 2013.5～ |
| 目的 概要 | <p>廃校を酒蔵に 佐渡の廃校が、酒蔵に生まれ変わりました。 市町村合併と少子化に伴い、2010年に廃校となった旧西三川小学校は、「日本で一番夕陽がきれいな小学校」と謳われた学校。 歴史あるみんなの思い出の校舎を、酒造りの学びの場に。立ち上がったのは、地元佐渡で122年の歴史を持つ、老舗の蔵元、尾畑酒造でした。</p> <p>2014年始動 酒米の仕込みを行うのは、もともと理科室だった場所。昨年11月には仕込み一期生となるお酒が、ここから全国へ巣立ちました。 上質な酒米をはじめとして、お酒の材料は全て佐渡産。さらに佐渡の杉材を浸漬することで、木造校舎の木のぬくもりを感じさせる風味に仕上がっているとのこと。これはぜひ飲んでみたい！</p> <p>プールでソーラー発電 さらにお酒を醸す工程では、環境にも配慮。プールにはソーラーパネルを設置し、酒造りに必要な電力の2割を太陽光でまかなう予定です。 朱鷺舞う佐渡の豊かな自然を活かし、残していくための試みです。 今後はこの学校蔵を酒造りの学びの場や、地域の交流拠点としても開いていくとのこと。 まだまだ目が離せません。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |
| 出典 | <p>公共R不動産 (URL:http://www.realpublicstate.jp/)</p> |

■公衆トイレで朝食を（イギリス ロンドン）

| | |
|----------|---|
| 主催 | ???? |
| 実施期間 | 継続中 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】 タイトルを見てあんまり食欲の沸かなかった方もいらっしゃるのでは？でも飲めるんです。美味しいコーヒーが。なんと元公衆トイレで。2013年、オーナーは10万ポンド（約1700万円）をかけてヴィクトリア朝時代の公衆トイレ（男性用）をリノベーション。</p> <p>あえて残した器は、イギリスを代表する陶磁器メーカー、ロイヤルドルトン社製。「こんなに美しいものを残さない手はない！」とオーナーに迷いはなかったそうです。全て高圧洗浄、完璧に清掃され、新たにコンクリートで固められているので、もちろん店内はピカピカ。</p> <p>ここロンドンは公衆トイレ発祥の地（1825年に世界最初の水洗の公衆トイレが出来たと言われています。）。他にもアイスクリーム屋さん、洋服屋さん、住居などに改装された例があるとのこと。</p> <p>【効果】 ユニークなリノベーションと、地元でも人気を博し、オープンから3年たった今も、客足が絶えません。</p> <p>【課題】 もともとトイレということもあり、きれい好きな日本人にはちょっと…と思います。</p> |
| 出典 | <p>公共R不動産 (URL:http://www.realpublicstate.jp/)</p> |



分野：公共施設空間



■市役所×まんがの幸せな関係（東京都立川市錦町）

| | |
|----------|---|
| 主催 | 立川市?? |
| 実施期間 | 継続中 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】 子ども未来センターって。いかにも子育て系公共施設にありそうな名前。こういった施設は往々にして子ども関係の大人が使っていたりしますが、この施設には本当に子どもがわんさかいます！なぜって、まさかの4万の蔵書を誇るまんがパークがはいっているのです！！</p> <p>庁舎っぽくない旧庁舎の秘密 こちらの建物、実はもともと立川市の第二庁舎。現在はまんがパークとともに、子育て、市民活動、芸術活動を支援する公共施設となっています。 でも、パッと見、まったく市役所っぽさがありません。その理由のひとつは旧第一庁舎を取り壊してつくられた大きな広場。ステージにも観客席にもなる、気持ちいい芝生の絨毯です。広場と施設をつなぐ、縁側のようなウッドテラスもオシャレ。 また、旧庁舎時代の駐車場の木立を残したり、建物廊下の曲がったコーナーをかわいく活かしたり。あか抜けつつも昔の記憶がさりげなく、ほっこり残っています。</p> <p>Studio-Lプロデュースの市民活動 この施設のイキイキ感を醸し出しているのは、ハードに加えて、使われ方。なんと、コミュニティーデザイナーの山崎亮さん率いるStudio-Lが市民活動のコーディネーターを担っているのです。WEBサイトを覗くと、毎日のように楽しげなイベントが開催されています。</p> <p>なぜ、こんな自由な空間が実現したのか？ 色々書きましたが、この空間の真の仕掛け人は立川市さんです。というのも、通常は「〇〇をやってくれる事業者募集」と、やることを決めて募集をかけるところ、今回は最低限必要な機能を盛り込むほかは、にぎわいを生み出す役割については、自由にアイデアを提案してもらおうようにしたのです。</p> <p>こうして実現したのがまんがパーク。自由とはいえ、公共施設でまんがって、相当な覚悟が必要だったと思います。でも、こんな多くの人が気軽に使える公共施設って、案外ありませんよね。「公共」って、みんなのハッピーを目指しているはず。ならこれも、ある意味正しい公共施設のあり方かも？そんな未来に想いを馳せるセンターなのでした。</p> <p>【効果】 ダラダラしてくださいと言わんばかりの、心地よい畳マットや押し入れ風おこもり空間。リラックスした雰囲気の中、子どもと同じくらい大人も楽しんでいます（笑）</p> |
| 出典 | <p>公共R不動産 (URL:http://www.realpublicstate.jp/)</p> |





分野：公共施設空間

■岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館（岡山県岡山市）

| | |
|----------|--|
| 主体 | サポートオアシス岡山(株)(運営) 岡山県(事業主体) |
| 実施期間 | 2005年9月供用開始 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民総参加のもと、ボランティア、NPO、各種団体などが手を携えて、多参画社会の形成を目指す ・ 県民と行政が協働して地域福祉を推進する ・ 旧岡山病院の建物を耐震・補強、地域福祉を推進するための総合拠点として整備 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>Before</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>After</p>  </div> </div> <p>【効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の機関や福祉関係団体の入居数34 ・ 岡山市まちづくり賞受賞[建築物部門賞](平成18年) ・ 定期的にフォーラム等の活動の会場に利用されるが具体的な利用者数は不明(施設利用者見込みは178,500人 ※岡山県 事業評価調書より) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車スペースの確保?(現在150台) |
| 出典 | <p>公共施設再生ナビ： https://www.gservice.cloudjp.net/renovation/ きらめきプラザHP： http://www.kirameki-plz.com/index.html</p> |



分野：公共施設空間

■北広島団地地域サポートセンターととも（北海道北広島市）

| | |
|----------|---|
| 主体 | 社会福祉法人 北海長正会 北広島団地地域サポートセンター四恩園 |
| 実施期間 | 2014年4月活用開始 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃校を社会福祉法人に無償貸与し、高齢者利用施設としてリニューアル ・ 施設内にサービス付高齢者向け住宅、複合型サービス等の7事業が展開 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>Before</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>After</p>  </div> </div> <p>【効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数 サービス利用：2,000人/月 地域交流：2,000人/月（H28.10時点） ・ 小学校が拠点となっているため、日常生活圏域として利便性が高く、体育館・グラウンドが有効活用できる ・ 「人口減少、少子高齢化が進行する中で、地域包括ケアシステム構築に向けたモデル事業として大変参考になりました」（北海道議会議員 視察談） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの確保？ |
| 出典 | <p>公共施設再生ナビ： https://www.gservice.cloudjp.net/renovation/ 北海道教育委員会HP： http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gst/haikou/029-01.pdf</p> |



分野：公共施設空間

■HISTERRACE奈良（仮称）（奈良県奈良市）

| | |
|------------------|--|
| <p>主体</p> | <p>ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ(株)</p> |
| <p>実施期間</p> | <p>2020年開業予定</p> |
| <p>目的 概要</p> | <p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧奈良監獄の耐震改修、史料館の運営及び付帯事業を行う事業者を募る公募型プロポーザルを実施 ・ 法務省は5月26日、旧奈良監獄の保存及び活用に係る公共施設等運営事業」の優先交渉権者にソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ（東京都港区）を代表企業とする「ソラーレグループ」を選定 ・ 同年8月、実施契約 ・ 2019年10月、史料館開館予定 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="491 1043 895 1274">  <p>旧奈良監獄の外観</p> </div> <div data-bbox="903 1025 1358 1458">  <p>文化財リノベーションホテルイメージ</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">資料：ソラーレホテルズアンドリゾーツ</p> <p>【効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本初の「監獄ホテル」であり、観光事業を盛り上げる役割？ ・ 重要文化財を取り壊すことなく利活用 |
| <p>出典</p> | <p>新・公民連携最前線： http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/tk/PPP/news/060100323/</p> |

分野：公共施設空間

■網小医院（宮城県牡鹿町）

| | |
|----------|--|
| 主催 | 医療法人陽気会 とちの木病院 |
| 実施期間 | 1997年の廃校～（継続中） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化に伴い廃校になった網長小学校を、町から無償貸与を受け、島に必要不可欠である医療施設として活用。 ・ 当初は、建物の半分を活用して開業し、その後病院運営が軌道に乗ったところで残りの半分に福祉施設を設置した。（デイサービス有） <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数：14,600人／年 ・ 主な利用者：行政区内の住民 ・ 近代的な設備の充実した医院であり、島内はもとより、島外の住民にとっても重宝している。 ・ 廃校の有効利用が図られている事例と思われる。 |
| 出典 |   <p>http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/03062401/50senn/06_ht/06.html</p> |



分野：公共施設空間

■学校法人国際総合学園 JAPANサッカーカレッジ（新潟県聖籠町）

| | |
|----------|---|
| 主催 | 学校法人 国際総合学園 |
| 実施期間 | 2001年の廃校～（継続中） |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校合併に伴う施設移転で廃校になった亀代中学校を利用した、サッカーの選手及びトレーナー等育成の専門学校 ・ 構造：鉄筋コンクリート造3階建 ・ 建築面積：2,234平方メートル ・ 延床面積：5,616平方メートル <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な利用者：専門学生 ・ 利用者数：43,800人／年 ・ 施設転用後の用途が教育施設であることから、建物を大きく改修することなく、有効に活用している。 ・ 日本初のサッカー・カレッジとしての活用により、町の活性化に期待。 |
| 出典 |   <p>http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/03062401/50senn/20_ht/20.html</p> |



分野：公共施設空間

■高齢者大学校あかねが丘学園（兵庫県明石市）

| | |
|----------|---|
| 主催 | 地方公共団体 |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の社会参加を支援するための社会教育施設として活用。 ・ 以前から設立されていた高齢者大学校を、小学校の廃校を契機に同建物に移転した。 ・ 本施設は、市が進めている地域コミュニティの活性化施策のひとつとして、社会参加・参画する人材をを育成するための拠点施設として位置づけられている。 ・ 主な利用者： 60歳以上の市民 ・ 利用者数： 58,400人／年 ・ 構造： 鉄筋コンクリート 地上4階建 ・ 建築面積： 1,798平方メートル ・ 延床面積： 7,194平方メートル <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室の数や運動場・体育館の広さに恵まれ、多様な学習ができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーの対応、設備の老朽化など <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |
| 出典 | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/03062401/50senn/32_ht/32.html |


分野：公共施設空間

■名護市営市場（沖縄県名護市）

| | |
|------|--|
| 主催 | 【主催】名護市 【協力】一般社団法人 資源活用管理協会 |
| 実施期間 | — |
| 目的概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩や待ち合わせ、ワゴンショップを使っでの物品販売、イベント開催など多目的の野外ホールとして活用。 ・毎週土曜日 10時から13時 子ども市場食堂を開催。食文化を伝えることを目的とし、IHクッキングヒーターが配置された調理室でオリジナルで生み出したお菓子や自慢のアイデア料理を町の人たちに広める。 ・毎週金曜日17時～21時 ビアガーデンを開催。ダンス、バンド等の出場者も募集。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のにぎわい作り。文化の伝承。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |
| 出典 | http://nago-ichiba.com/ |

分野：公共施設空間

■かすみがせき保育室（東京都）

| | |
|----------|--|
| 主催 | |
| 実施期間 | |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央合同庁舎第7号館文部科学省内にある保育所 ・“霞ヶ関”という官庁街の就業状態を考慮して、8時30分から22時までオープン。 ・「霞ヶ関にある保育所」というと、“ビルに囲まれている”というイメージがあるが、緑化された屋上に園庭もある。 ・文部科学省職員はもちろん、定員の範囲内で中央省庁や関係機関、民間企業勤務の子どもの入室も可能。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場内に保育施設があるので、子どもが病気になったときなどはすぐに迎えに行けて、とても便利で安心。 ・保護者にとって働きやすい職場環境に貢献。  |
| 出典 | http://www.the0123child.com/personal/area/kanto/kasumigaseki-room.php |



分野：公共施設空間

■福岡市立有住小学校・こぐま保育園分園

| | |
|----------|--|
| 主催 | 【主催】こぐま保育園 公設民営 【協力】福岡市 |
| 実施期間 | 2003年4月～ |
| 目的 概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市では平成14年より小学校などの余裕教室を活用した保育所分園整備を進めている。 ・乳幼児の待機児童対策として分園を整備。 ・基本的に3歳未満時を対象にしている。 ・車による送迎が多い為、駐車スペースの確保。 <p>・小学校児童数:281人 ・保育園児童数:16人</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校:児童が自分より小さい園児と触れ合うことで優くなる。 ・保育所:緑が多い広々した環境で園児がのびのびすごせる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日は、住民に学校施設を開放しているため、門を施錠することができない。保育所と学校の稼働時間が違うので防犯面に留意が必要。 <div data-bbox="469 1462 922 1794"> </div> <div data-bbox="940 1462 1362 1794"> </div> |
| 出典 | https://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/hoikusyo.pdf |

分野：公共施設空間

■ギャラリー「野月舎」(鹿児島県 吹上町 旧野首小学校)

| | |
|------|---|
| 主催 | 【主催】民間個人 【協力】吹上町 |
| 実施期間 | — |
| 目的概要 | <p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術家がアトリエ兼ギャラリーとして活用するとともに、地域の芸術文化振興に貢献。 ・主に鹿児島市内からの生徒を対象とした絵画教室の他に、地域の小学校の課外授業や育成会活動も行っている。 ・地域の芸術文化拠点として情報を発信。 <p>・主な利用者：絵画教室生徒、町内外ギャラリー観覧者 ・利用者数：3,000人／年</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物を保存したいという地域のニーズと、広い活動場所を求めている洋画家のニーズが、タイミング良くマッチした。 ・静かな山村風景と穏やかな木造校舎が、創作意欲をかきたて、芸術活動には最適の空間となっている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |
| 出典 | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/03062401/50senn/50_ht/50.html |